

製品名: RND2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17281**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	RND2 ARHN RHO7
別名	
遺伝子 ID	8153.0
SwissProt ID	P52198
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 140~220

背景

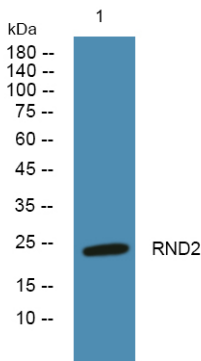
この遺伝子は Rho GTPase ファミリーのメンバーをコードしており、このファミリーのメンバーは細胞外成長因子に応答してアクチン細胞骨格組織化の調節に重要な役割を果たしています。この特定のファミリーメンバーは、ニューロンの形態とエンドソーム輸送

の調節に関係していることが示されています。この遺伝子は 17 番染色体に局在し、乳がん・卵巣がん感受性遺伝子 BRCA1 のセントロメア近傍にあります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能:ニューロン機能と肝臓機能に特異的に関与している可能性があります。Rho サブファミリーの C3 毒素非感受性メンバーです。類似性:低分子 GTPase スーパーファミリーに属します。Rho ファミリー。細胞内局在:ゴルジ体由来のプロアクロソーム小胞および先体で RACGAP1 と共局在します。サブユニット:RACGAP1 の Rho-GAP ドメインと相互作用します。UBXD5 と相互作用する。組織特異性:精巣で高発現。

研究分野

神経科学; 神経学プロセス; 神経シグナル伝達; シグナル伝達; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; 低分子 G タンパク質; Ras ファミリー; 神経新生

画像データ



Jarkat 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、RND2 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩